



FY14 1Q (15年3月期) 決算短信補足説明資料

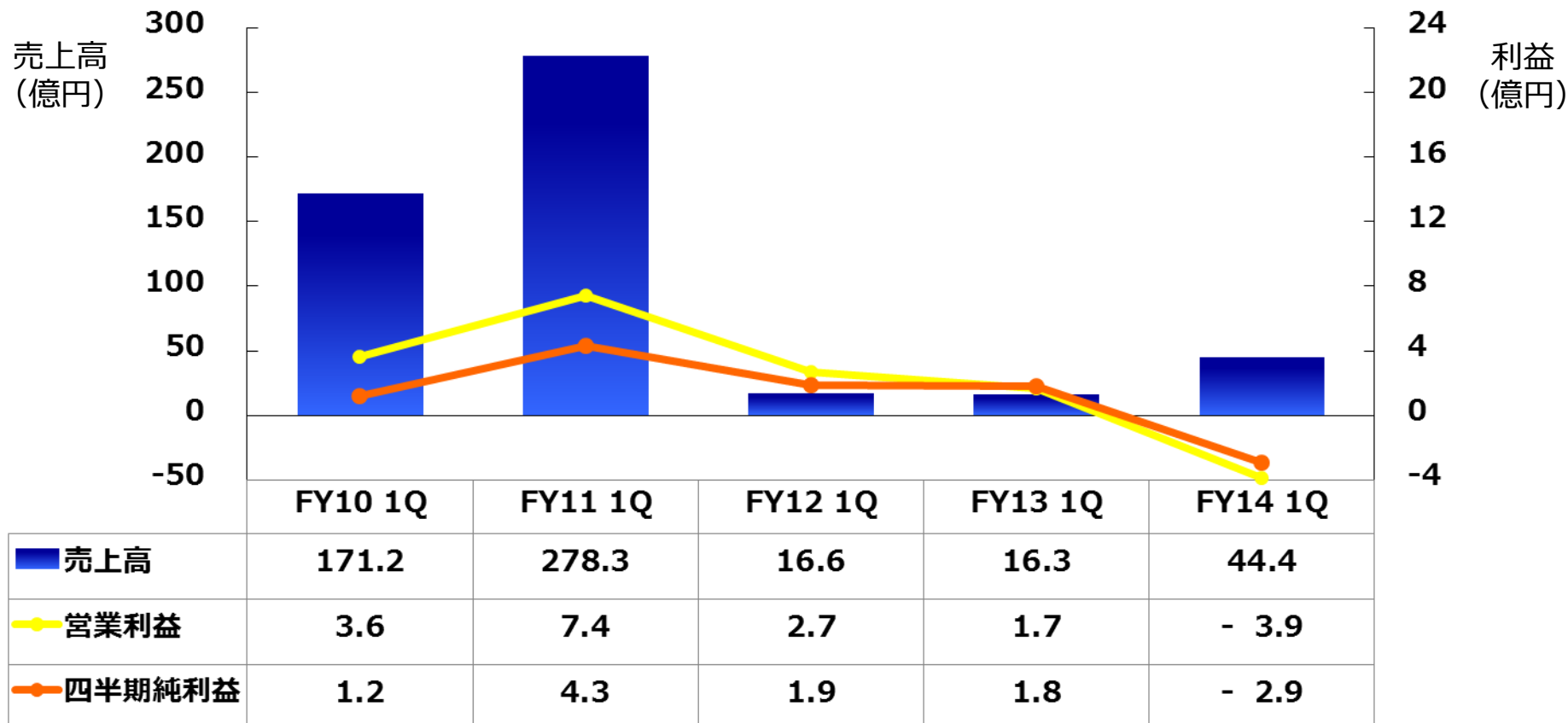
株式会社フェイス

FY14 1Q決算

FY14 1Q 連結業績ハイライト



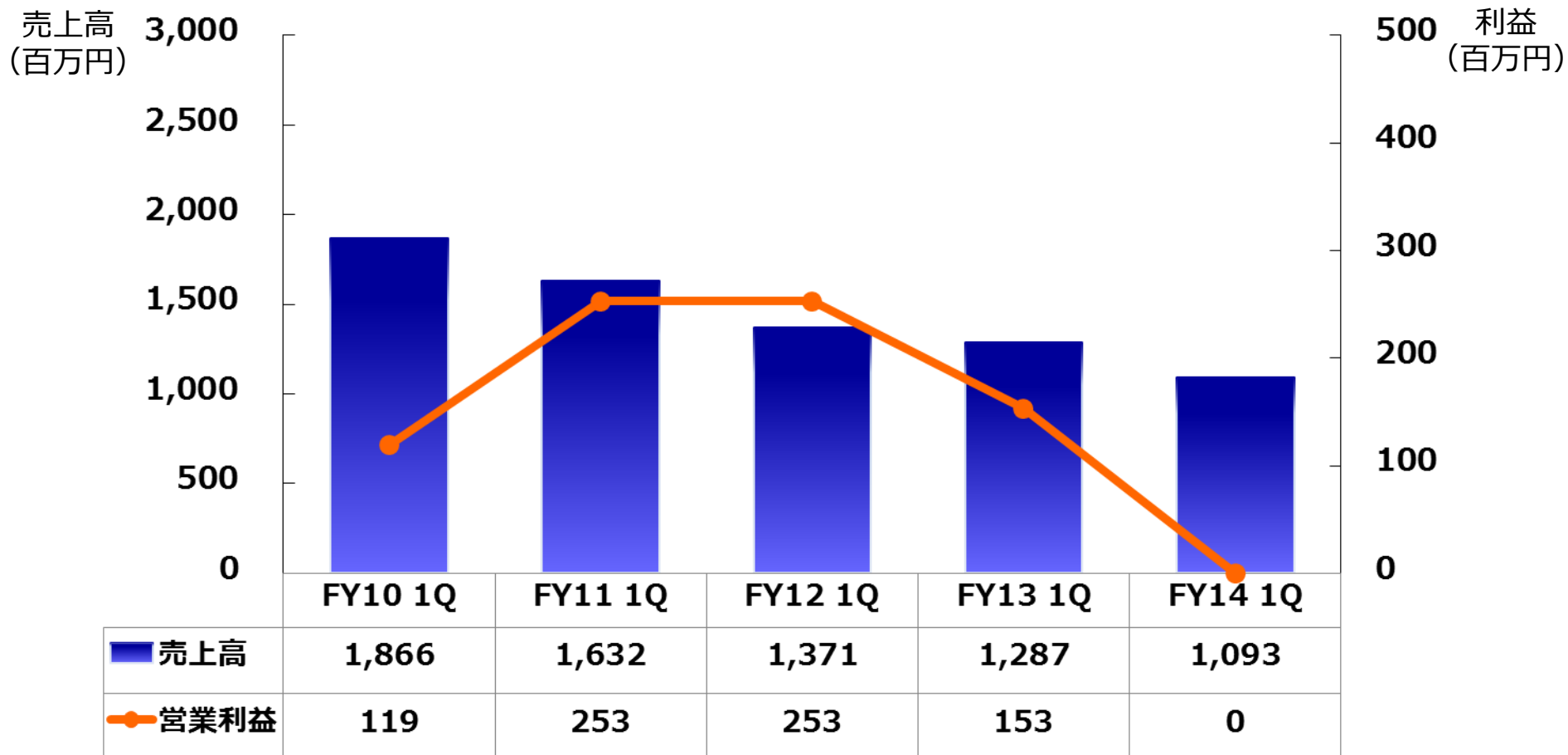
当社グループの当第1四半期の連結累計期間の業績は、新たにコロムビア事業セグメントの売上高及び営業損失が加わったため、売上高は44.4億円（前年同期比171.1%増）、営業損失は3.9億円、四半期純損失は2.9億円となりました。



注) 2011年7月に株式会社ウェブマネー株式を売却したことに伴い、FY12 1Q以降、電子マネー事業の売上・利益が除外されています。

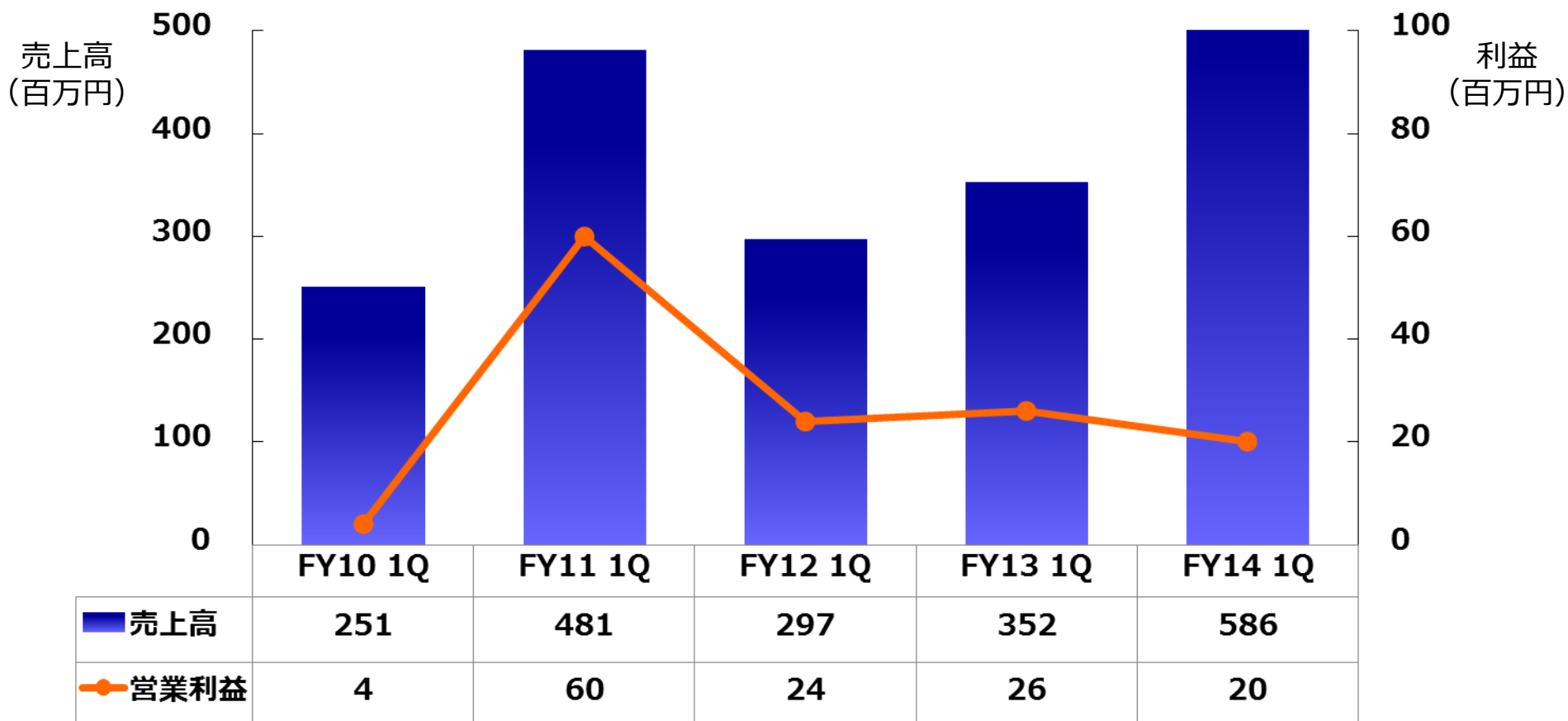
FY14 1Q コンテンツ事業の業績

コンテンツ事業の売上高は、新たなサービス展開を進めているものの、フィーチャーフォン向けの売上減少により前年同期比15.0%減の1,093百万円、営業利益は前年同期比99.4%減の0百万円となりました。



FY14 1Q ポイント事業の業績

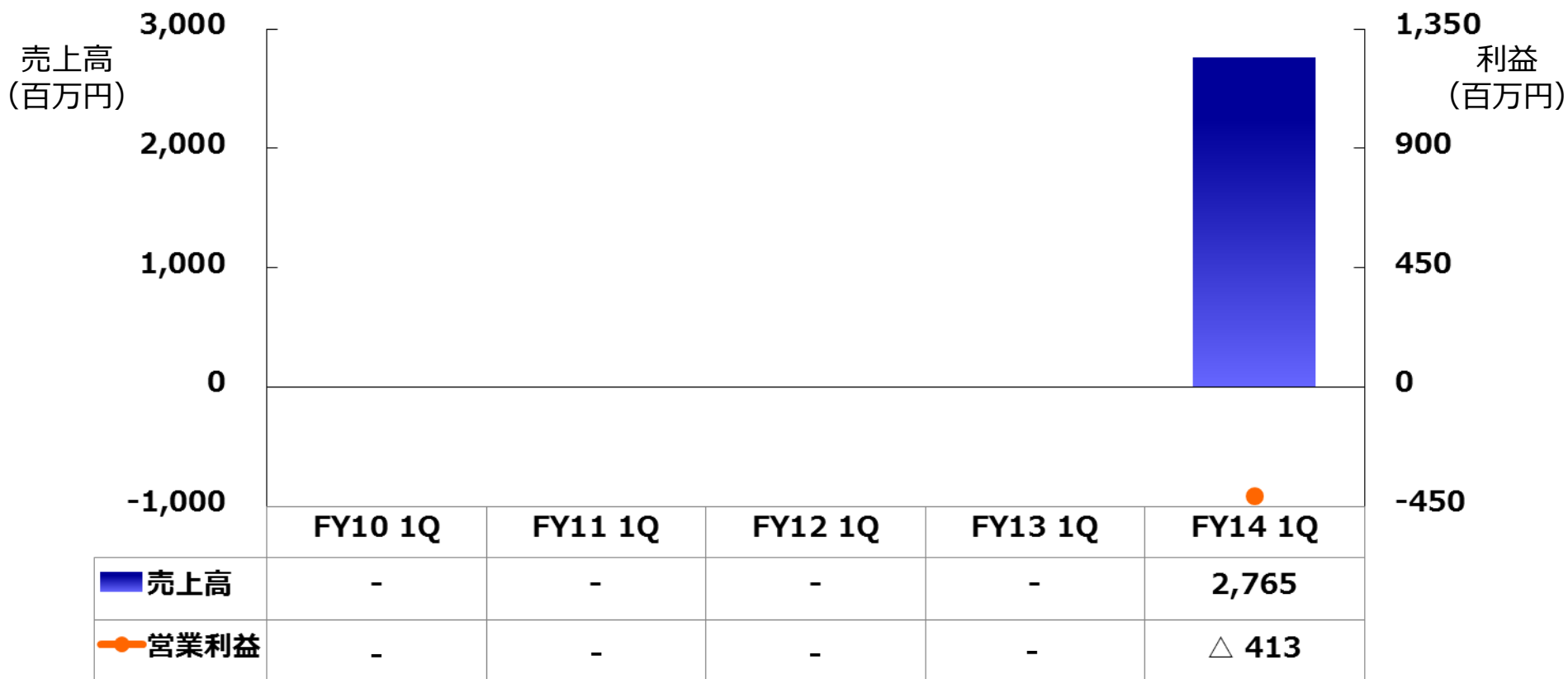
消費税増税前の駆け込み需要による加盟店のポイント発行の増加を受け、売上高は前年同期比66.1%増の586百万円となりましたが、営業利益は旧ポイントの回収による利益率の低下及び新規事業に伴う原価増により前年同期比22.0%減の20百万円となりました。



FY14 1Q コロムビア事業の業績



J-POPジャンルの大型作品発売が売上に貢献したものの、その他ジャンルのCD・配信・商品販売で音楽市場規模の縮小や消費税増税の影響を大きく受け、売上高は2,765百万円となりました。また、利益率の高い音源使用にかかる取引割合の減少が利益水準を押し下げる要因となり、営業損失は413百万円となりました。



注) コロムビア事業の売上高及び営業損失は、当期首より当社グループの業績に加味しておりますので、前年同期との比較は行っておりません。

FY14 1Q セグメント別連結業績 (前年同期との比較)



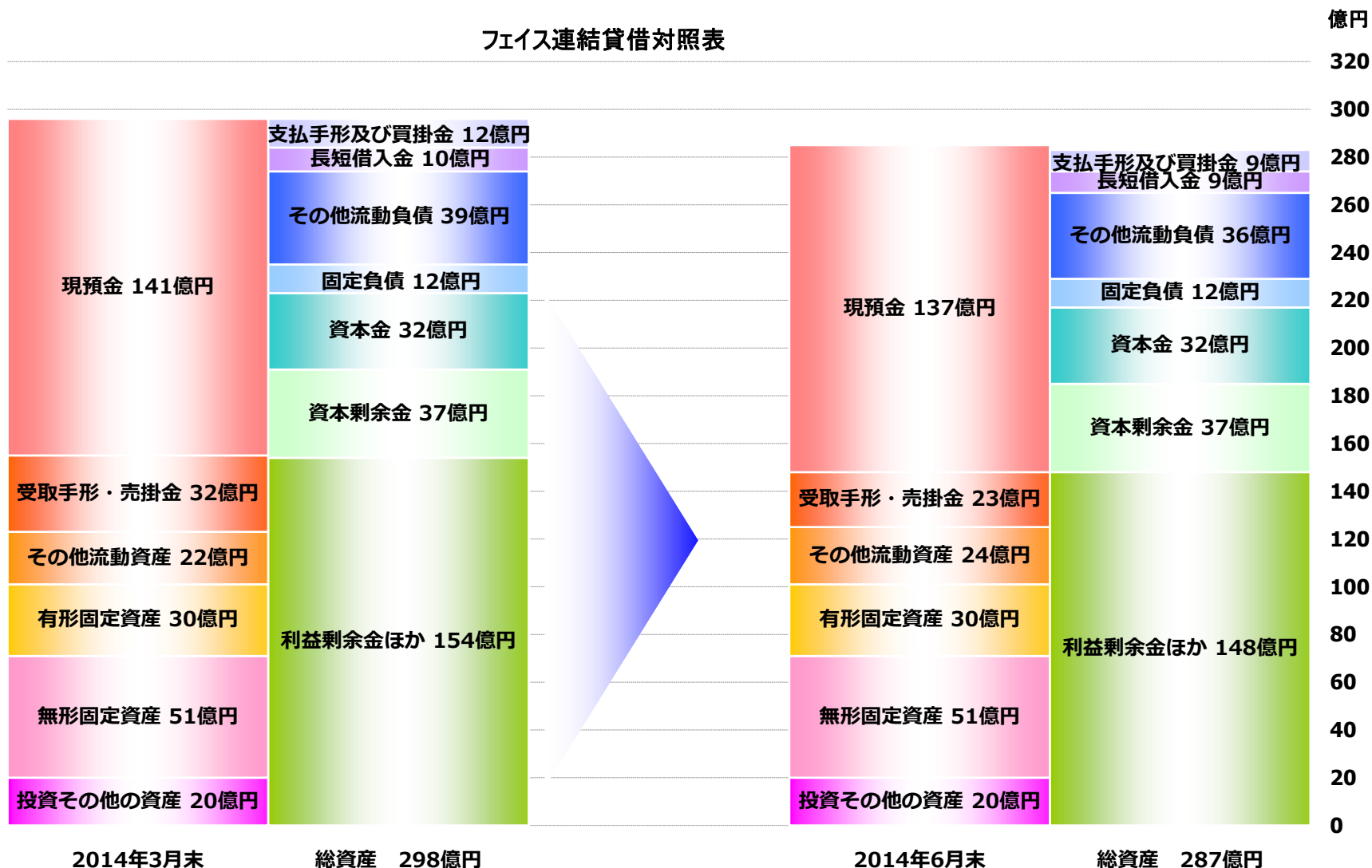
(単位：百万円)

	FY13 1Q	FY14 1Q	対前期 増減額	同左 増減率
売上高	1,639	4,445	2,805	171.1%
コンテンツ事業	1,287	1,093	△ 193	△ 15.0%
ポイント事業	352	586	+233	+66.1%
コロムビア事業	—	2,765	+2,765	—
営業利益	179	△ 391	△ 570	—
コンテンツ事業	153	0	△ 152	△ 99.4%
ポイント事業	26	20	△ 5	△ 22.0%
コロムビア事業	—	△ 413	△ 413	—
調整額※	0	0	+0	—
経常利益	179	△ 386	△ 566	—
四半期純利益	181	△ 293	△ 474	—

※調整額はセグメント間取引の消去によるものです

連結貸借対照表（前期末との比較）

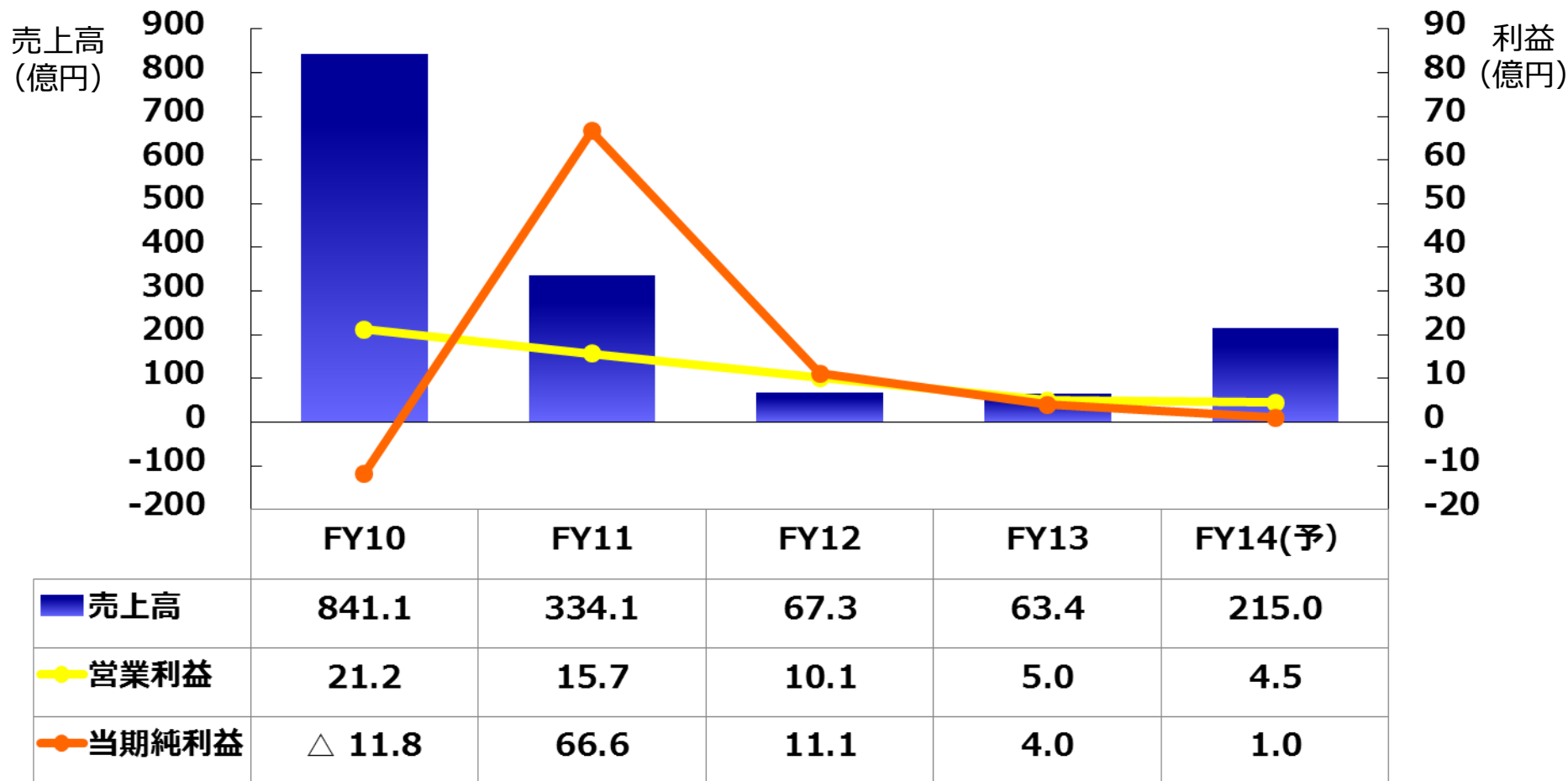
フェイス連結貸借対照表



業績予想

FY14 通期業績予想

日本コロムビアを連結子会社としたこと等により、売上高は増加を見込むものの、コンテンツ事業の収益低下および日本コロムビアののれん・商標権の償却などの影響により、利益につきましては、減少を予想しております。



FY14連結セグメント別業績予想



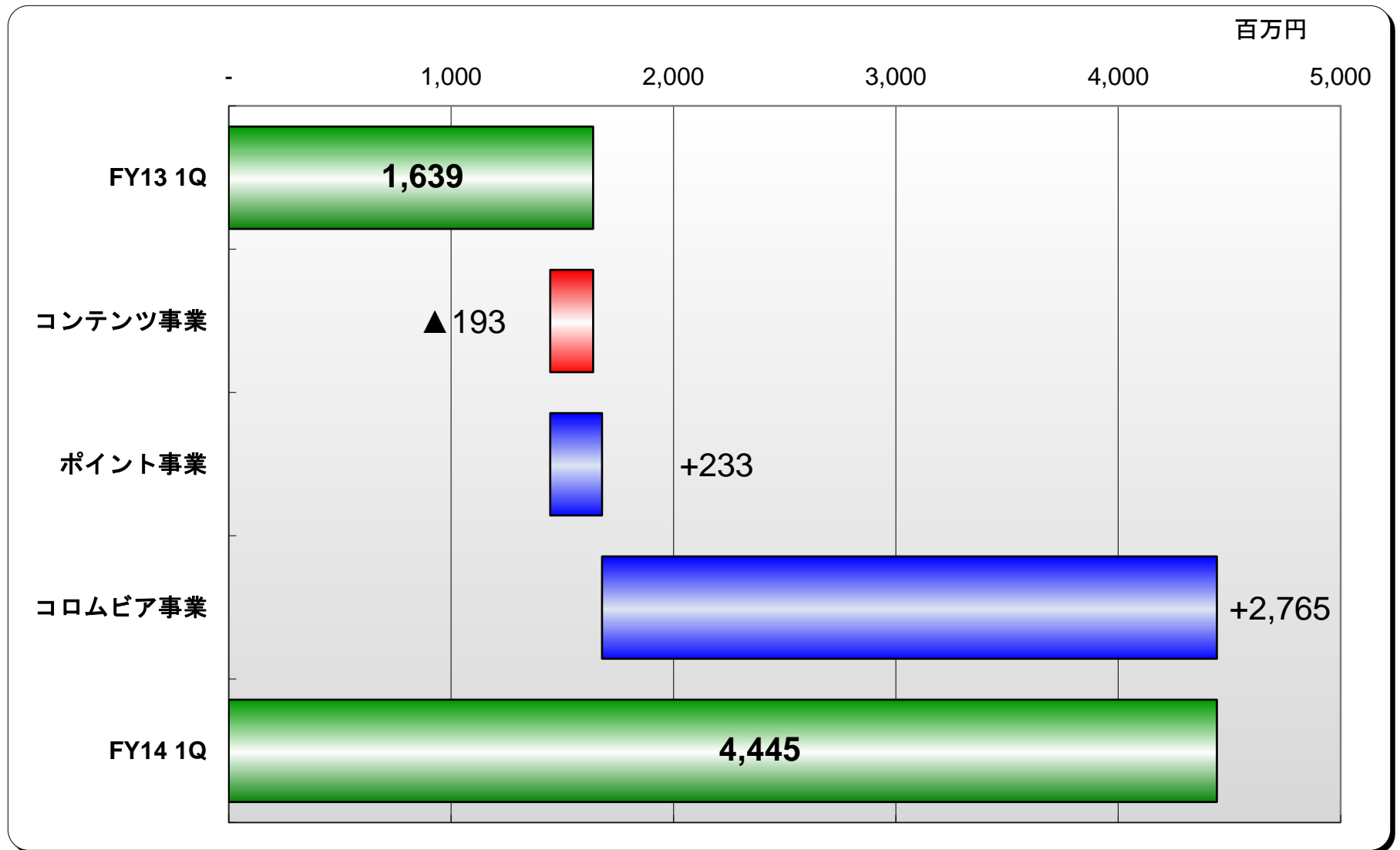
(単位：百万円)

	FY13	FY14 (予想)	対前期	同左
			増減額	増減率
売上高	6,340	21,500	+15,160	+239.1%
コンテンツ事業	5,007	4,900	△107	△2.1%
ポイント事業	1,332	1,700	+368	+27.6%
コロムビア事業	—	15,000	+15,000	—
調整額 ※2	—	△100	△100	—
営業利益	508	450	△58	△11.5%
コンテンツ事業	467	345	△122	△26.1%
ポイント事業	40	20	△20	△50.7%
コロムビア事業 ※1	—	100	+100	—
調整額 ※2	1	△15	△16	—
経常利益	586	430	△156	△26.7%
当期純利益	403	100	△303	△75.2%

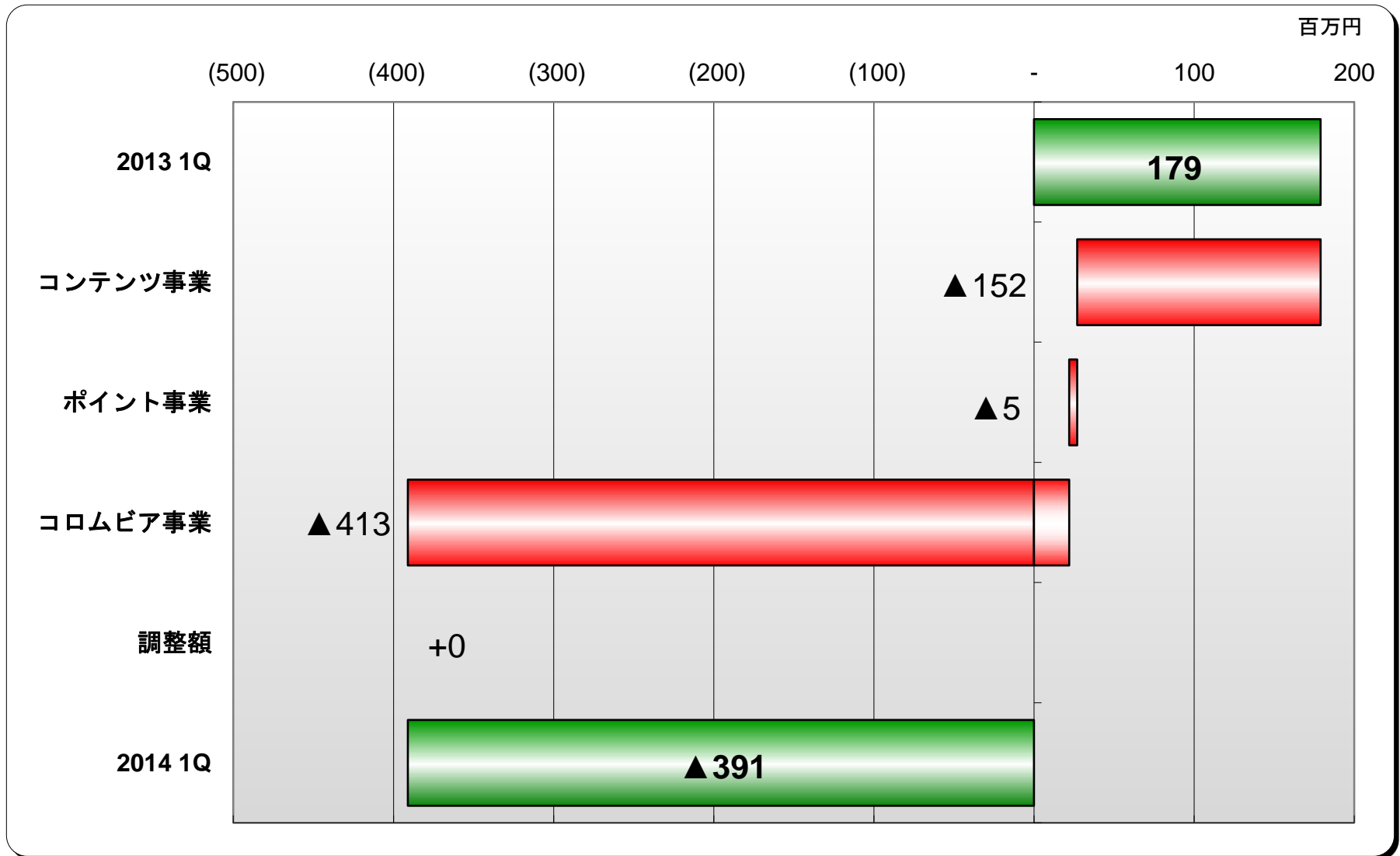
※調整額はセグメント間取引の消去によるものです

參考資料

FY14 1Q 連結売上高（前年同期との比較）

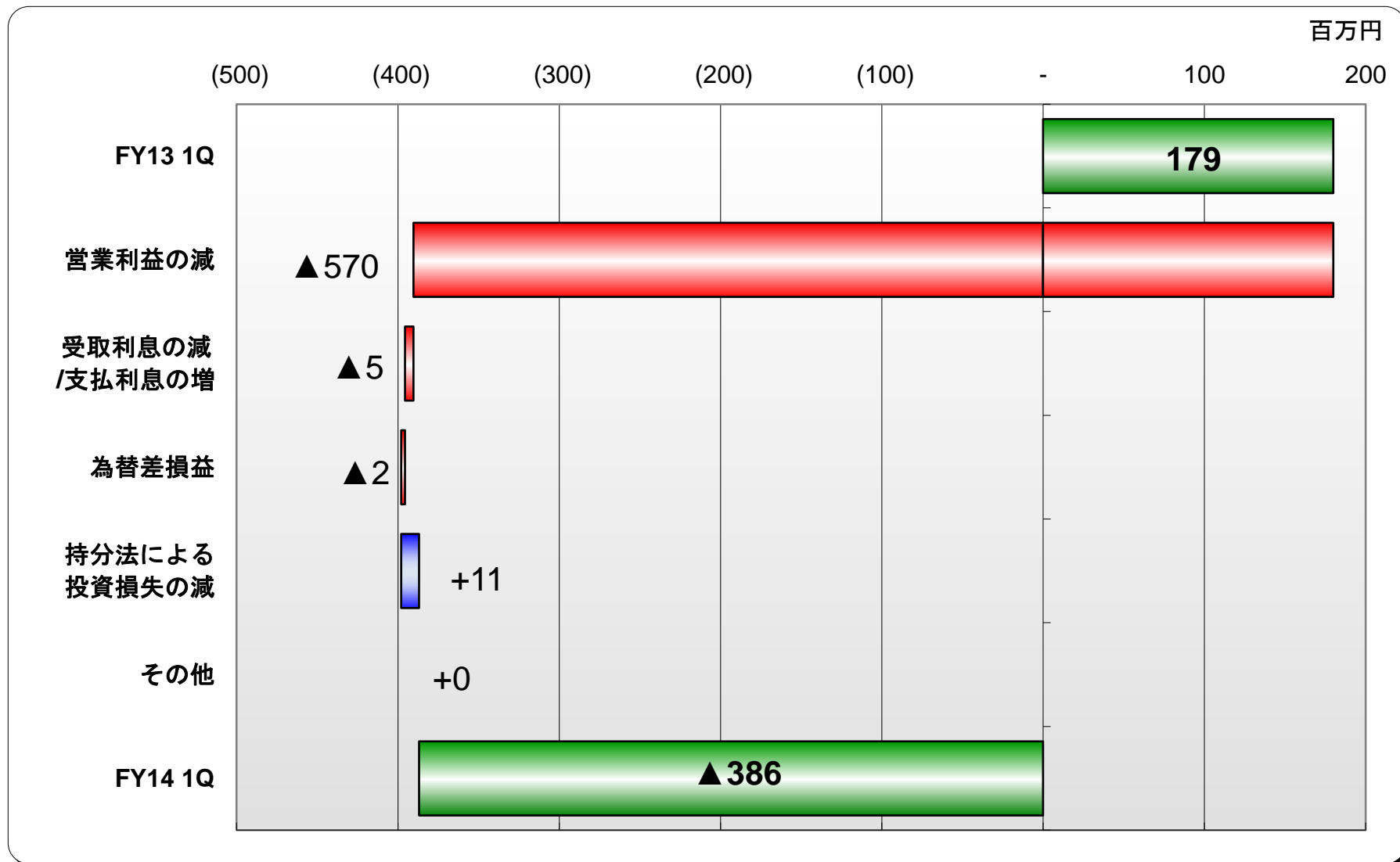


FY14 1Q 連結営業利益（前年同期との比較）

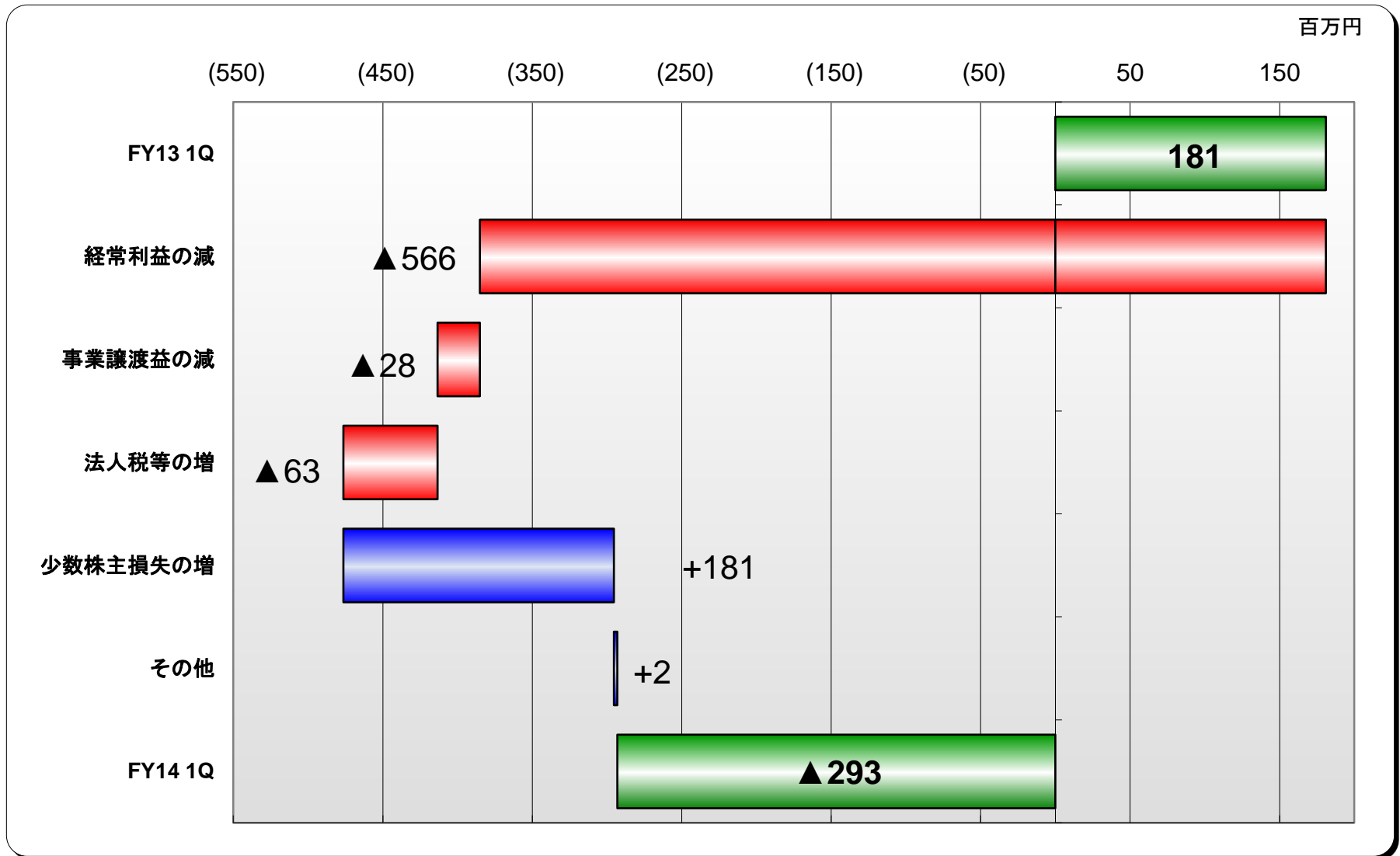


※調整額はセグメント間取引の消去によるものです

FY14 1Q 連結経常利益（前年同期との比較）



FY14 1Q 連結純利益（前年同期との比較）



注意事項

本説明および参考資料の内容には、将来の当社業績に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られたフェイスの経営者の判断にもとづくものであり、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら業績に関する見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。